

建材コレクション

特集社

東京都千代田区内神田3-2-4 テイトビル 〒101-0047
電話 03(3256)3266(代表) FAX 03(3256)3264
購読料(前納) 1ヵ年 73,500円 / <http://www.tokushusha.co.jp>
e-mail root@tokushusha.co.jp

—CONTENTS—

平成22年10月15日発行

第2410号

現況	金属・樹脂複合板の現況	2
特集	09年~10年、月10~15%の伸び「格子スクリーン」 ...	3
	☆トステムが開発・販売で先行 ☆人口木製が加わり多様化進む	
	プレハブ水泳プールの現況	10
	☆メンテナシの無塗装ステンノの普及進む	
建材・住設ニュース	13
	小松電機産業、三和シャッター、文化シャッター、日東工器、 昭和フロント、リョービ、積水樹脂プラメタル、ニチベイ、 コスモ工業、新日軽、トステム、三協立山アルミ、 全国自動ドア協会、日本食品機械工業会	
フレッシュ・ジャンプ商品		
	日本板硝子環境アメニティの「シロマーブロック」 ...	35
建築着工統計推移グラフ (住宅着工計)	36

TOSTEM

新時代のパイオニアはいつもトステム

「トステムショールーム東京」は
最新の商品情報サービスと最適のプランサービスで
お店の営業力をバックアップします。

●アルミサッシからキッチン、バスルームまで

トステムホームページアドレス <http://www.tostem.co.jp>

年中無休(年末年始 夏期休業日は除きます)

〒136-8535 東京都江東区大島 2-1-1 TEL 03(5626)1001

トステム株式会社

建材・住設ニュース

高速シートシャッター

高速シートシャッター4社製品が 「エコマーク」認定取得

日本シャッター・ドア協会の高速シートシャッター委員会（小松昭夫委員長）では、07年から高速シートシャッターの「エコマーク」取得に取り組んできたが、小松電機産業、三和シャッター工業、文化シャッター、ユニフローの4社は10月5日、財団法人日本環境協会の「エコマーク」認定を取得し、それぞれ発表した。4社の認定商品と認定番号は次のとおり。

小松電機産業

[認定商品] 門番GF05～20型、門番KV11～51型、WV31～41型、SV26～41型。

[認定番号] 第10123019号

三和シャッター工業

[認定商品] クイックセーバー フレクシーSR、SR-F、SR-W、SR-N（抗菌シート、メッシュシートを除く）

[認定番号] 第10123022号

文化シャッター

[認定商品] 高速シートシャッター エアキーパー大間迅。型式 マジックタイプ [M2] パワー、同 [M3] オールウェザー、同 [MINI]、同 [C] スタンダード、Picomo（ピコモ）

[認定番号] 第10123021号

ユニフロー

[認定商品] 「スムーザー」RB-2、RB-3、RB-4。（標準仕様、シート：クリア・オレンジのみ）

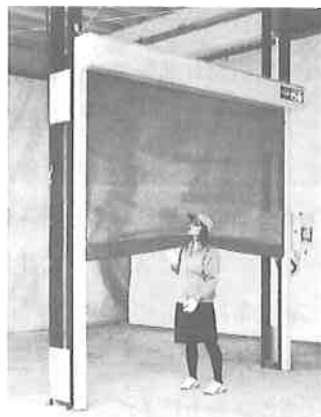
[認定番号] 第10123020号

エコマークは、様々な商品の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルで、再生材料の使用や有害化学物質の使用制御、省エネルギーなど総合的な観点から評価された商品について認定される。エコマーク事業は財団法人日本環境協会が実施している。

「門番」、全シリーズでエコマーク認定

小松電機産業

小松電機産業（代表取締役 小松昭夫、島根県松江市乃木福富町）が製造販売している高速シートシャッター「門番」全シリーズが、財団法人日本環境協会エコマーク事務局より、エコマーク認定を受けた。エコマーク認定を受けるのは高速シートシャッターが、シャッター製品として初めて。認定を受けたのは門番GF05～20型、門番KV11～51型、WV31～41型、SV26～41型。シートシャッター「門番」は、主に工場・倉庫などにおいて、フォークリフト・搬送車・人などが出入りする建物の外部お



「門番Gシリーズ」（小松電機産業）

建材・住設ニュース

よび内部の開口に設置される産業用シャッターで、カーテン部分がシート主体に構成され、人と物の出入りをセンサーで自動検知し、高速高頻度で上下に開閉するシャッターである。門番は一般的な鋼製シャッターに比べ約10倍～20倍の速さで開閉することにより、冷暖房効果を飛躍的に高め、屋内からのエネルギーの流出を低減することで、CO²など温室効果ガス排出削減に効果を発揮する点が評価された。「門番」は1985年の発売。防塵および防虫、冷暖房効果など、工場環境を変える決定的な製品として、自動車、食品、精密機器製造工場などで導入され、累計業界最多の12万台を販売した。同社は本年6月発売のGシリーズと、中間パイプ付のKVシリーズなど「門番」ラインナップにより、工場、倉庫のあらゆるシーンにおいて最適なラインナップを揃えている。エコマーク認定を受けたことで、政府が発表した温室効果ガス25%削減に向け、環境健康問題に取り組む研究開発事業をさらに進めていく。認定をうけた製品のうち本年6月発売の門番Gシリーズは、シート上昇速度が秒速3mを実現。従来品比で気密性が18倍になり、ともに業界トップ。気密性は独自のエアタイト構造を採用することにより時間当たり通気量は、正圧5.34立方m、負圧が5.11立方m（ともに気圧差10Paあたり）。万一の衝突時にはシートがいったん外れ、上昇することにより自動でレールに復帰する機構を備えている。復帰ガイドに注油機構を備えるなど新技術の採用により、ファスナーガイド破損、ファスナーのコマ割れなど、これまでの自動復帰の課題を抜本的に改善した。シート下降時に障害物などにより異常を感知した場

合は、一旦停止して中速で上昇。シート下端にクッションを内蔵しており、衝突時の安全性を飛躍的に向上させた。空調効果をスチールシャッターと比較した場合の年間電力料金削減・省エネ効果は、4m四方の間口で約145万円になる（同社試算。算出条件は以下）。

門番KVシリーズは中間パイプがあるタイプで、正圧6.89、負圧5.24で、従来比約14倍の気密性を実現。風に強く、シートのふくらみを抑え下端シートと地面との密閉性を確保、風によるシートの変形や地面との隙間をつくらず、外気に触れる工場搬入口などに適している。パイプ両端にはローラーユニットを採用し、ガードとシートが接触しにくく、摩擦や破れを抑えた。

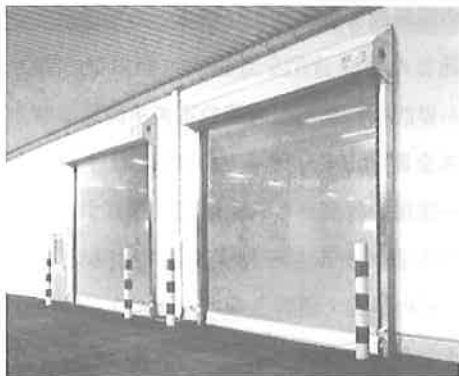
門番WVシリーズは中間パイプをKVより多く設置することで耐風圧特性を高めた。SVシリーズは入力電源を三相AC200V（ほかは単相AC200V）に設定、開閉機の減速方式はサイクロ減速方法を採用したモデル。

GF、KV、WV、SVシリーズ共に、方向検知機能により、シート前を横切る物は検知しない高機能センサーEタイプ（注文仕様）を備え、通過するものの高さに応じて開閉する省エネ運転モードECOモードを備えている。

「クイックセーバー」がエコマーク取得 シャッター関連商品で初 三和シャッター

三和シャッター工業の高速シートシャッター「クイックセーバー」が、10月5日にエコマークを取得した。高速シートシャッターのエコマーク認定基準は2010年7月1日に制定されたもので、同社にとって初のエコ

建材・住設ニュース



「クイックセーバー・フレクシー SR-F」施工例
マーク取得商品となる。三和の「クイックセーバー」は、工場・倉庫の出入口や建物内の間仕切りとして使用する高速シートシャッター。カーテン部分がシート主体で構成されており、一般的な鋼製シャッターに比べて約10倍～20倍の高速で開閉することで、温度差や風などによる開口部からの空気の流出入を最小限に抑える。風やほこり、虫の流入を抑制し室内の急激な温度変化を防ぐことで、商品の品質保持や快適な作業環境の維持に役立つほか、空調効率アップにより省エネに寄与する。

■商品類型：No.123「建築製品（内装工事関連用資材）Version2.8」

■分類：D-5. 高速シートシャッター

■認定番号：第10123022号

■認定商品：クイックセーバー フレクシー SR、SR-F、SR-W、SR-N（抗菌シート、メッシュシートを除く）

「エア・キーパー大間迅シリーズ」が
エコマーク取得 文化シャッター

文化シャッターでは、高速開閉・高気密性を特徴とする高速シートシャッター「エア・キー

パー大間迅（だいまじん）シリーズ」製品において、10月5日、財団法人日本環境協会の「エコマーク」認定を取得した。同社では、建築解体現場や工場などから排出される廃木材と、廃プラスチックを原材料とした100%リサイクル建材「テクモク」に続き、2製品目の取得となる。今回認定された「エア・キーパー大間迅シリーズ」は、主に工場、倉庫などにおいて、車やフォークリフト・人などが出入りする建築物内外の開口部に設置される産業用のシートシャッター。主な製品特徴である高速開閉、高気密性能により、防塵機能などを有しており、厳しい衛生管理・空調管理が求められる食品・医療関係施設などにも、多く採用されてきた。その特徴とあわせて、鉛や六価クロムなど、規定されている有害物質類を添加していないことなどが認定基準に適合しており、今回の認定取得となった。開口部からの外気の流出入を最小限に抑えることで、熱損失が小さくなり、CO₂の削減効果がある。また、車両の衝突などによりシートが抜け出した場合でも、シートが自動復帰する*セルフリペアリング方式により、室内環境の変化を最小限に抑えることができる。文化シャッターでは、ブランドビジョン「快適環境ソリューショングループ」を掲げており、



「エアキーパー大間迅」（文化シャッター）

建材・住設ニュース

省エネルギー・リサイクル社会の実現を目指し、今後も環境負荷低減に向けた商品開発に積極的に取り組んでいく。

*セルフリペ어링方式：万が一車両やフォークリフト等がシートと衝突した場合でも、シートはレールから抜け出す当社独自の設計方式。レール（サイドガイド）から抜け出したシートは、1回巻き上げることで自動的に復帰する。

「スムーザー」RBシリーズがエコマーク取得 専門の開口部省エネ診断開始 ユニフロー

ユニフロー（本社：東京都品川区）は、製造販売している高速シートシャッター「スムーザー」RBシリーズにおいて、財団法人日本環境協会エコマーク事業局のエコマーク認定を取得（10月5日）、今回使用契約を締結した。同社は、高速シートシャッターのエコマーク認定基準が本年7月に制定されたのを受けて、取得手続きを進めてきた。同社にとっては初のエコマーク取得。なお、エコマーク付きの製品の出荷開始は十一月頃になる見通し。今回認定を受けた「スムーザー」RBシリーズは、耐風圧性能が高いパイプ式シートシャッターで、工場等の出入口や屋内でも室内外で気圧差があるような開口部に適している。鋼製シャッターと比較して約10～15倍の速度で開閉し、空調効果を高め、開口部からの熱損失を抑制することで絶大な省エネルギー効果を発揮する。風やホコリ、虫などの流入も抑え、作業環境維持にも貢献する。同社は、今回のエコマーク取得を機に環境製品の開発を更に進めていく。同時に社員

への環境教育を実施し、顧客への環境改善提案を通じた販売強化を目指す。その第一弾として、専門家による開口部の省エネ簡易診断サービスを開始する。顧客の施設におけるエネルギー使用の状況から、開口部を見直すことで得られる省エネルギー効果を測定するというもの。その過程で顧客とのコミュニケーションを図りながら、改善対策として最適な間仕切りの導入を提案していく。

■省エネ簡易診断サービスの概要（随時展開）

希望に応じて、顧客の施設における冷暖房の使用状況や施設の稼働時間、開口部の面積、使用している建具、建具の開閉頻度などを確認する。社内の専門家がそれを基に年間省エネ効果（CO₂削減量、年間効果金額）を推計、グラフ化した資料を作成する。その上で改善対策としてシートシャッターをはじめとした最適な間仕切りの導入を提案する。

【測定例】

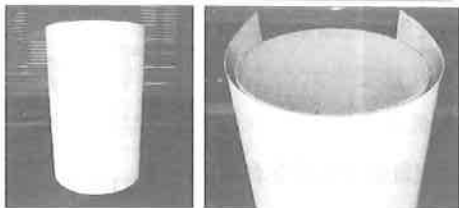
開口幅5m、高さ4mで1日16回開閉する開口部の場合、鋼製シャッターにシートシャッターを併設することで年間CO₂削減量2.5ton、エネルギー消費量の効果金額換算で14万円の効果が期待できる。（外気条件、使用頻度により効果は変化する。）



「スムーザー」RB-2型（ユニフロー）

建材・住設ニュース

曲げ加工無しで柱巻きが可能!!



溝加工無しで角曲げ可能!!
角曲げ部分の
形状保持力の向上!!



写真は「アートパネルスリム」

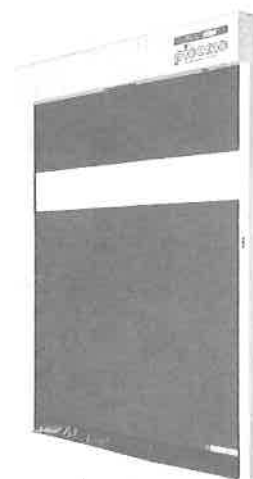
「アートパネルスリム」は看板サイン用に特化した「アートパネル」に薄物タイプとして追加した。厚さ1.5mmで加工性が向上した。片面フィルム無しで、現場でのゴミ削減対策に寄与する。用途は壁面パネル・柱巻きの下地材、内照サインのバックパネル、チャンネル文字の板面などに最適としている。サイズは1.5mm×1,220mm×2,440mm、1.43kg/m²、比重0.95と軽く、同社3mm品比較で重量を30%軽減した。塗装系より環境有害物質である六価クロム化合物・鉛顔料などを全廃、片面マスキングフィルム無しで、現場での廃棄物が削減できる。仕様は表面/ポリエステル樹脂系焼付塗装(白)、裏面/サービステル樹脂系焼付塗装(グレイ色)。

シャッター

「エア・キーパー大間迅ピコモ」新発売
省スペース設計実現 文化シャッター

文化シャッターは高速シートシャッター「エ

ア・キーパー大間迅(だいまじん)ピコモ」を10月1日から新発売した。高気密性と高速開閉を備えた省スペース設計で、食品工場の作業場や薬品・医療関係施設のクリーンルームの出入口など、厳しい衛生管理や空調管理が求められる屋内開口部に最適としている。今回発売する「エア・キーパー大間迅ピコモ」は、大間迅シリーズの特徴である「高気密性」「高速開閉」「高い安全性」の基本性能はそのままに、小間口を最大限に活用できるように、コンパクトな納まりを徹底的に追求した省スペース設計とした。本体シートを収納する上部のケースについては、同社従来品に比べて高さが350mmから245mm、出幅が270mmから149mm、ガイドレールについても見付け幅が88.5mmから63mm、出幅が80.4mmから47mmとコンパクトな仕様にしたことで、設置面積が約30%小さくなり、開口部を最大限に活用できるようになった。また、デザイン面においては、押しボタンや障害物感知センサをガイドレール内に、制御盤や起動用センサをケース内に収納したビルトイン設計にしたことで、人や物の衝突を防ぐ他、*HACCP対応を考慮したホコリがたまりにくい商品となった。さらに顧客に必要な機能や用途に応じて選べるよう、基本操作と安全機能をセットした「スタンダードセット」、既存の



建材・住設ニュース

制御機器に本体のみセットする「ベーシックセット」、多彩なオプション機器の増設が可能な「オーダーセット」の3タイプを用意した。現在同社は、「高気密性」「高速開閉」「高い安全性」を特徴とする大間迅シリーズ4タイプに、今回発売する屋内専用の「エア・キーパー大間迅ピコモ」を省スペース設計を実現する新タイプとして加え、顧客の要望にきめ細かく対応できるように、積極的に提案していく。なお、同商品は(財)日本環境協会が認定するエコマーク商品の認定に向け現在申請中。

*HACCPとは、食品の原料の受け入れから製造・出荷までのすべての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理手法。

「ピコモ」の開口幅は600mm～1,800mm、開口高さは600mm～2,100mm。カラーバリエーションは、不透明シート：4色（インディゴブルー、レタスグリーン、サフランイエロー、ナチュラルホワイト）、半透明シート：2色（クリア、防虫オレンジ）。参考価格は、開口幅1,000mm×開口高さ1,800mm、スタンダードセットの場合、721,000円。2010年度、大間迅シリーズ全体で30億円を目指す。

窓シャッター

「サンプレミア ECO」省エネ効果実証 三和シャッター

三和シャッター工業のメッシュスクリーン内蔵窓シャッター「サンプレミア ECO」が、環境省の平成21年度環境技術実証事業の対象技

術として選定され、実証試験を受けた結果、試験により確認された空調負荷低減性能等について、実証番号の付与およびロゴマークの交付を受

けた。今回対象となった「サンプレミア ECO」は三和シャッターが09年5月に発売したもので、窓シャッターのケース内に巻き取り式のメッシュスクリーン（網戸）を内蔵した構造となっており、メッシュスクリーンを閉めることで、日射遮へい効果を発揮する。実証試験の結果、夏季1カ月（8月）では熱量16.2%、電気料金にして574円相当の低減、年間を通じては熱量28.8%、電気料金4,022円相当の冷房使用量の低減効果が確認された。（いずれも東京都の戸建住宅・LD部を想定）

■対象技術分野：ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）

■実証対象技術：メッシュスクリーン内蔵窓シャッター「サンプレミア ECO」

■実証番号：051-0926

◇環境省・環境技術実証事業とは

実証番号 051-0926



ロゴマーク



メッシュスクリーン内蔵窓シャッター
「サンプレミア ECO」